

KVVS 2016

第二回関西血管外科基本手技ビデオセミナー

2016.1.16 於：関西医科大学 枚方学舎

KVVS2016 プログラム

1. 吻合基本手技ビデオレクチャー

関西医科大学 駒井宏好

2. 特別レクチャー

「PAD 全国実態アンケート調査から
考える侵襲的治療の適応」

東京慈恵会医科大学 大木隆生教授

3. 人工血管縫合ハンズオン

KVVS 2016 昨年以上の盛り上がりを見せ終了

第二回関西血管外科基本手技ビデオセミナー（KVVS 2016）は平成28年1月16日、関西医科大学枚方学舎において開催され43名の参加者が熱心に勉強し、またお互いに友好を深め合って無事終了しました。

特別レクチャーに東京慈恵会医科大学 大木隆生教授を招いて

大木隆生教授が「PAD 全国実態アンケート調査から考える侵襲的治療の適応」のタイトルで講演され、閉塞性動脈硬化症に対する患者本位の治療とはなにか、外科医としての大事なフィロソフィーはいかなるものか、を熱弁をもって伝えてくださいました。参加者一同瞬きもせず聞き入っていたのが印象的でした。

ハンズオンでは時間を忘れ人工血管吻合の練習を

約2時間のハンズオンでは参加者は時間を忘れ、さまざまな人工血管吻合の練習に没頭しました。4人に一人ずつ中堅医師の指導者がつき細かい注意点を教えてくれました。大木隆生教授もみずから持針器をもって指導してくださり、参加者の皆様にはよい経験となったと思います。

あとの懇親会はわきあいあいと

レクチャー後の懇親会はカフェテリアに場所をうつし、各地からの参加者が分け隔てなく集いわきあいあいと親交を深めました。明日への活力となったと信じています。

本年の参加者は遠く東京、岡山から、また心臓血管外科医のみならず一般外科医、形成外科医、皮膚科医、研修医、医学部学生、看護師、検査技師とさまざまな職種の方が参加してくださいました。

企業の協賛も8社をかぞえ、会場にも展示ブースを出していただきました。どうもありがとうございました。

関西の血管外科は我々の手で!!



【主催】関西血管外科 NEXT GENERATION

代表世話人： 関西医科大学外科学講座 末梢血管外科

教授 駒井 宏好

